

守江幼・護江小だより 第14号

校(園)長 小河 正二
発行日 令和2年7月29日(水)

学校教育目標

ふるさとを愛し、
夢と希望に向かって
主体的に学ぶ護江っ子の育成



将来就きたい職業

新型コロナウイルス禍でとても過酷な環境の中で業務に従事された仕事は、いわゆる医療従事者の方々だったと思います。医師や看護師の皆さんの奮闘ぶりとその激務による疲弊された様子は、しばしばテレビや新聞でも報道されています。医療崩壊が危惧される中で、昼夜を問わず見えないウイルスと闘っている医師や看護師等の医療従事者の皆さんです。「医療従事者の子どもは登園・登校させないでほしい。卒園式もお断り」などの言葉をかけられたという事実もあったと報道で知りました。

そんな中、「将来就きたい職業」について、学研教育総合研究所が行ったアンケート調査結果に注目しました。平成元年(1989年)と令和元年(2019年)とで比較すると次のようになります。

【平成元年(1989年)】

- 1位 保育士・幼稚園教諭
- 2位 プロ野球選手
- 3位 小・中・高校の先生
- 4位 一般サラリーマン
- 5位 プロ野球選手以外のスポーツ選手
- 6位 看護師
- 7位 警察官
- 8位 パイロット
- 9位 マンガ家
- 10位 公務員



【令和元年(2019年)】

- 1位 パティシエ(ケーキ屋)
- 2位 YouTuberなどのネット配信者
- 3位 医師(歯科医師含む)
- 4位 プロサッカー選手
- 5位 プロ野球選手
- 6位 保育士・幼稚園教諭
- 7位 運転士
- 8位 看護師
- 8位 警察官(8位と同率)
- 10位 パン屋

30年も経つと、社会状況の変化によって子どもたちの思い描く将来像も大きく変わってきていることがわかります。「ユーチューバー」などは30年前にはなかった仕事です。困難なことがあっても、医師や看護師などの医療従事者に志をもつてなりたいという「夢」を持ち続けてほしいものです。

私が気になったのは、「小・中・高校教師」が平成元年はベスト10入りをしていたのですが、令和元年では圏外という結果になっていることです。近年の教員希望者の減少、全国・全県的な教員不足の現象にもつながっているような気がしています。

本校の子どもたちから、母校護江小の教員として活躍してくれる人材が育ってほしいと思っています。また、子どもたちから目標とされるような教員になっていきたいと今でも思っています。

幼稚園夏祭り

7月16日(木)、おうちの皆さんをお招きして「夏祭り」を開催しました。

「ありがとう(感謝)」の気持ちを伝えるというめあてをたてました。

子どもたちののびのびとした表現力に感心させられました。おいしい手作りカレーも皆さんでいただくことができました。心温まる和やかな「夏祭り」になりました。ご出席くださった皆様、本当にありがとうございました。



カブトガニ観察会

7月20日(月)、幼稚園、3・4年が守江湾の干潟で行いました。約20匹カブトガニを見つけることができました。生物多様性のこの守江湾の豊かな環境を守り続けていきたいです。



人生標語

Go where nobody has gone. (だれも行つたことのない場所へ行こう。)

Do what nobody has done. (そして、だれもやらなかったことをやろう。)

APU 学長 出口治明氏

今後の予定について

○8月7日(金)～8月14日(金) 学校閉庁日

○2学期始業式・・・8月25日(火) 給食があります。14時下校予定

○8月26日(水)～28日(金) 5分短縮の40分授業を行います。

○9月3日(木) 第2回PTA役員会 18:30～

○9月28日(月)～29日(火)「おじか」宿泊キャンプは中止とさせていただきます。

詳しくは、文書にてお知らせいたします。